



自立し、互に関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

静岡県教育委員会
教育広報紙

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

令和5年(2023年)
12月5日
火曜日
第266号

学校広報 プロジェクト



教育委員会事務局の広報PT(プロジェクトチーム)が、10月21日に開催された実学チャレンジフェスタを取材し、ブース出展していた生徒にインタビューしました。

① どのような魅力がある学校か

② 今どのようなことに取り組んでいるか

③ 入学を考えている中学生に向けてメッセージ

「実学チャレンジフェスタ」とは？

県の実学系専門高校及び総合学科高校では、地域や産業界、大学などと連携し、将来の産業の担い手を育成しています。「実学チャレンジフェスタ」では、これらの実学系高校が一堂に会し、日頃の学習成果などが披露されました！

イベントは終了しましたが、
実学系高校の取り組みが
紹介されていますので
ぜひご覧ください！

▲実学チャレンジフェスタ
ホームページ

天竜高校(森林・環境科)

- ① 森林・環境科の授業は実習が多く、さまざまな体験を通して成長できます。何よりここにしかない授業が面白いし、実習では、生徒や先生方とのチームワークが深まることも嬉しいです。
- ② 森林科学類型の授業ではチェーンソーや刈り払い機を扱えるようになります。また、自分だけの木工製品を作成できます。他にも、UAV(ドローン)の操作実習や、セルロースナノファイバーを活用した食品開発など、最先端の授業にも取り組んでいます。
- ③ みなさんも、"天竜でしか"学べないことにチャレンジしてみませんか。森林科学類型ではドローンを使ったスマート林業にも挑戦しています。色々チャレンジしたい前向きな後輩を心より待っています！



島田工業高校

- ① 情報電子科には、全国でも珍しい放送技術班があることが魅力の一つです。普段体験できない映像技術や舞台照明音響技術について学ぶことができ、地域と協働し、活動を行っています。
- ② 資格取得や技術開発などさまざまなことに取り組んでいます。中でも、生徒が開発したデジタルスマート聴診器は、第81回全日本学生児童発明くふう展(発明協会主催)で奨励賞を受賞しました。
- ③ 情報電子科放送技術班は、さまざまなイベントに参画しています。地域協働で、イベントを成功させたときの達成感は格別です。放送関係に興味のある方はぜひ島田工業高校に！



静岡商業高校

- ① 地域とのつながりを大切にする学校で、地域の方からも信頼され、応援してもらっているところが魅力です。私たちの課題研究では、地域のB型事業所とコラボした授業や、福産品の販売などを行っています。
- ② 手話や車いすの講座など、福祉の視点から障害者への理解を深める取り組みを行っています。静岡市内で行われた「夜市市」では、障害者の作ったコーヒーやクッキー、雑貨などを販売しました。SNSや講座を通して障害者との共生への理解を、社会全体へ広めていきたいです。
- ③ 期間限定で自由な服装で登校できる静岡カジュアルデー(略称Sカジ)を実施するなど、生徒主体の活気あふれる学校です。地域からの信頼も厚く資格取得のサポートも充実しています。静岡で一緒に学びましょう！



焼津水産高校

- ① 県内で唯一の水産高校です。学校が船を所有しており、漁業・養殖業・食品加工・製造販売など実際に実践しながら学べます。就職率が100%などとても大きな魅力です。フィッシング部やカヌー部など水産高校らしい部活もあります。
- ② 魚をさばくところから始め、鯖の水煮やツナの缶詰を作る実習があります。また、1泊2日の乗船実習では海の微生物や水質などの研究ができ、クラスみんなで釣りや遠泳をするなど、普通科では経験できない実習に取り組んでいます。
- ③ 4つの学科があり、専門的な知識を身につけられるため就職、進学どちらに進路先にも選べる学校です。県内唯一の水産高校で、先生の異動が少ないため先生との距離が近く、普段の勉強も進路の相談も親身になって対応してくれます。他では体験できない3年間を焼津水産高校で過ごしてみませんか？



清流館高校(福祉科)

- ① 福祉系のさまざまな進路・就職先に進める学校です。介護福祉士国家試験の合格率は6年連続で100%と、全国屈指の実績を誇ります。
- ② 福祉のスペシャリストを目指して介護実習に取り組んでおり、高校生のうちから福祉施設等の「現場」を体験できます。施設での実習はトラブルの連続で事前に考えていたとおりにならないことばかりですが、色々な人とのふれあいは楽しいし、何より勉強になります。
- ③ とにかく福祉に触れてみて欲しいです。高齢者は若者との関わりが少なく、あなたの力を必要としています。色々な実習や経験をしながら、一緒に清流館高校で福祉を学びましょう！



清水南高校(芸術科美術専攻)

- ① 油絵・日本画・デザイン・彫刻と4つの専攻があり、専門の材料や画材が揃っている環境で作りたい、描きたいものに没頭できます。1年生で4つの専攻を広く学び、2年生から自分に合った専攻を選んで知識や技術を深めることができます。
- ② 2年生からは各専攻に分かれて技術を磨き、授業の課題やコンクール出品に向けて生徒一人一人が作品制作に励んでいます。美術専攻の生徒は全員美術部に所属するので、授業以外でも毎日作品制作に取り組むことができます。
- ③ 絵を描くことが好きな人、美大や芸大を目指す人、芸術に関する仕事に就きたい人はぜひ！美術を専攻したいなら最高の環境です。大変なことも多いけど、作品を作り上げる達成感は何物にも代えられません。清水南高校で本気で美術に向き合ってみませんか？

【教育政策課】

実践NOTE⁵²⁹

緊急時に備えての環境整備～効率的な保健室の物品持ち出し～

静岡県立浜北特別支援学校 養護教諭 鈴木 麻衣

緊急時に備えて「ハリーコール体制」

本校は、知的障害と肢体重複障害の学級を設置している特別支援学校です。医療的ケアが必要な児童生徒も在籍しています。そのため、てんかん発作や気管カニューレ抜去などの緊急時に備え、「ハリーコール体制」が整備されています。全校放送で「ハリーコール」という言葉が聞こえたら、養護教諭だけでなく、管理職や教員が現場に駆け付けます。それにより、いち早く人員確保ができ、状況の共有や、必要な管理職の許可・指示をその場で得ることができます。



ハリーコール訓練の様子

ハリーコール!その時養護教諭は?

養護教諭は、ハリーコールが掛かったら、緊急時連絡先や健康情報の入ったファイル、緊急時用スマートフォン、救急用品を持って現場に駆け付けます。しかし、保健室の内外に点在している必要物品を揃えていると、忘れ物があったり、初動が遅くなったりすることに気が付きました。



養護教諭の緊急時持ち出し物品

ハリーコールで必要な物はここ!

できるだけタイムロスをなくすために、緊急時の救急用品の持ち出し方を見直すことにしました。まず、救急用品を半透明の工具箱に入れ、一

目で何がどこにあるのか分かるようにしました。また、カートを購入し、上段にAED、アンビューバック、救急用品などの緊急時に必要な用品を乗せました。これにより、ハリーコール時の忘れ物やタイムロスが減り、迅速に出動できるようになりました。さらに、全職員に説明し、誰でも保健室から緊急時カートを持ち出せるように周知しました。



救急用品BOXと緊急時役割分担カード

災害時はミニ保健室に変身

緊急時カートの引き出しや下段には、普段の処置でよく使う物やアルミシートなどを乗せ、災害時にミニ保健室として機能できるようにしました。

これにより、災害発生時に必要物品を持ってすぐに移動することが可能になりました。



緊急時カートを職員に説明

「みんなが分かる みんなが動ける」

特別支援学校では、児童生徒の体調変化により、一分一秒を争う場面があります。緊急時に必要な物がどこにあるのか、どう動いたらいいのか、全職員が知っていることでスムーズに動くことができます。これからも、「みんなが分かる みんなが動ける」ということを意識して環境整備を行いたいと思います。

実践NOTE⁵³⁰

広げよう!難聴理解の輪～地域支援部の取り組み～

静岡県立静岡聴覚特別支援学校 教諭 石上 俊介

「聞こえにくさ」と向き合う

通級指導教室(難聴)には、小中学校に通う聞こえにくさのある児童生徒が通っています。難聴により補聴器や人工内耳をしている子どもたちの多くは、学校生活のさまざまな場面で聞こえにくさを感じています。授業中に先生や友達の発言を聞き落としてしまったり、休み時間に友達とのコミュニケーションが上手にとれず、孤立感を感じていたりする児童生徒もいます。自分の聞こえと向き合い、どうしたら聞きやすい環境づくりができるのか、自ら周囲からの理解を求めるためのセルフアドボカシーの力を身に付ける学習をしています。



筆者

在籍校担任と行う難聴理解授業

聞こえの特徴や配慮事項をクラスメイトに伝えるために行う難聴理解授業。聴覚障害教育を専門とする通級指導担当者と生徒が共に行うことを基本としていますが、今回は在籍校の担任の先生に生徒と共に難聴理解授業を行っていただきました。共に過ごす時間の長い担任の先生だからこそ気付く生徒の聞こえにくさを、一緒に伝えてもらうことができました。また、担任の先生が応援団になる



在籍校担任との難聴理解授業

ことが、聞こえに配慮されたよりよい学習環境づくりにつながりました。

難聴児支援講習会

幼稚園や保育園、市町の障害福祉担当課など、難聴児支援に携わる方々を対象に「難聴児支援講習会」を開催しています。聞こえの仕組みや聴覚障害に関する情報、園や学校でできる難聴児の支援方法などをお伝えしています。また、マイクを通じて話し手の声を補聴器や人工内耳の受信機に送信し、聞こえを改善する補聴援助システム(ロジャー)や補聴器を活用した聞こえの体験をしていただくことで、難聴児の聞こえに対する理解をより深めていただくよう心掛けています。



難聴児を受け持つ担任同士での情報交換

おわりに

聞こえにくい“音”があることを自分で認識し周囲に発信できるようになるためには、家族、医療機関、同じ聞こえにくさのある友達、園や学校の友達や先生など、理解の輪の支えが不可欠です。聞こえにくさのある子どもそうでない子ども、みんなが活躍できるように。広げよう!難聴理解の輪!



「ロジャー」の聞こえを体験

教職員の人権感覚を磨こう!

人権週間

(12月4日～10日)

毎年、12月4日～10日は人権週間です。一人一人の違いを認めたり、自分や相手の良いところを見つけたりして、お互いを大切にすることを考える1週間です。

ちょっとしたマイナスは、言い換えるとプラスになるよ。
「気が弱い」→「やさしい」
まずは、自分を好きになろう。

I 新規研修「多様性を認め合う学級づくり実践研修」

令和5年度から、希望研修として、「多様性を認め合う学級づくり実践研修」を新たに実施しました。すべての児童生徒と教員の多様性を互いに認め合い、尊重し合う学級づくりについて認識を深めるとともに、指導者としての実践力強化を図ることを目的としています。



10月6日に実施した研修では、講師に愛知大学の松尾由希子教授をお迎えし、性の多様性を事例として、児童生徒の思いを大切に信頼関係づくりや多様性を認め合うことについて講義・演習を行いました。また、グループ協議では、性の多様性だけでなく、障害の有無、外国にルーツをもつ児童生徒への支援方法などを話し合い、多様性を認め、一人一人を大切に学級づくりへの意欲を高めることができました。

受講者の感想

- 「私たちの価値観や意識をアップデートできると、子どもたちの生き方も多様になっていけると思った。」
- 「自分が無意識に性別等で分けすぎたことに気付いた。これからもっといろいろな子どもたちがいることを意識していきたい。」
- 「自分自身がもっと勉強を重ね、学校全体、社会全体が多様性を認められるようになればと思った。」

メリット

多様性を認め合うと…

- ★ 視野が広がり、相手の立場や感情を理解する力が養われ、共感や思いやりの心が育つ。
- ★ 異なる背景や経験をもつ人々と協働する経験は、創造性や問題解決能力を高める。
- ★ 自分のアイデンティティを受け入れることで、自己肯定感が高まる。

5分でできる「プチ人権ワーク」子どもたちと一緒にやってみよう!

★ 声に出しても、心の中で考えてもOK

- ①「自分のどんなところが好き?」
- ②「友達の良いところは?」
- ③「家族の良いところは?」

まとめ▶ 誰にでも良いところがあって、誰にでも苦手なことがある。一人一人違って当たり前。
「わたしも大事、あなたも大事」がキーワード。

参加無料
事前申込制

II 「人権教育指導者研修会」オンライン開催!

人権教育の充実を図るため、さまざまな人権課題に対する正しい理解と認識を深めるとともに、指導者としての資質向上と指導力の強化を図ります。

申込はこちら▶

開催日時 令和6年1月26日(金) 13:30~16:00

参加対象者 学校や地域社会において人権教育の指導的立場にある人や関係者(各学校の教職員及びPTA関係者、行政関係者、社会教育関係団体関係者、人権擁護委員、市町民生関係指導者及び職員、人権・同和団体役員等)

内容 【全体会】「静岡県の人権教育について」
【第1分科会】講義「インターネットと人権」常葉大学教育学部講師 酒井 郷平 氏
【第2分科会】講義「同和問題について」人権センターながの事務局長 高橋 典男 氏
実践発表「吉田町の人権啓発活動」(吉田町教育委員会 生涯学習課)
【第3分科会】講義「インクルーシブ教育について」静岡大学教育学部准教授 山元 薫 氏

【教育政策課】

申込必切
12/26(火)



令和5年度



静岡県総合教育センター 研究報告会 オンライン開催!

～最新の研究状況を把握するチャンス～

静岡県総合教育センターが取り組んでいる「学校への還元」を目的とした研究の成果を報告します。

理論化された研究成果の中から、実践のヒントが見い出せます。

皆様のご参加をお待ちしております。



日時

- 令和6年2月13日(火) 15:00~16:10
- 令和6年2月14日(水) 15:00~16:10

※両日又はいずれかのみの参加ができます。

会場

各所属(Zoomを利用したオンライン開催)



令和5年度 研究内容	研究名	担当
特別支援学校における子どもの資質・能力の育成に向けた取組に関する研究 ～子どもの自立と社会参加に向けた1人1台端末の活用～		特別支援課
「主体的に学習に取り組む態度」の育成に焦点をあてた授業改善に関する研究		小中学校支援課
高等学校におけるICT活用指導力向上を目指した校内研修プログラムに関する研究		高等学校支援課
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する研究		RPT(令和の学び・プロジェクト・チーム)
子どもたちを援助資源につなげる教育相談体制づくり ～一人ひとりの多様な課題を支えるために～		教育相談課

各研究の発表日と申込方法などの詳細は、総合教育センターのホームページに掲載する二次案内(1月)をご覧ください。
多くの方のご参加をお待ちしています。



【総合教育センター】

・外国につながりがある児童生徒への教育支援・

やさしい日本語で 学校の文書を作成してみませんか?

義務教育課では、希望する市町を対象に、学校における「やさしい日本語」研修会を開催しています。「やさしい日本語」とは、普段使われている言葉を相手に合わせて工夫した、伝わりやすい日本語のことです。また、「やさしい日本語」で作成したお便りは、外国籍の保護者だけではなく、誰にとってもわかりやすくなります。伝達ミスが減り、誤解を招きにくくなるので、働き方の改善にもつながります。本年度は、聖心女子大学教授 岩田 一成氏を講師としてお招きし、県内6市町で講演していただきました。学校でも、やさしい日本語で文書を作成してみませんか?

before

令和〇年〇月〇〇日
〇〇市立〇〇中学校長

修学旅行食物アレルギー調査のお願い

〇〇の校、保護者の皆様にはまずまず御協力のお願いを申し上げます。日頃より、学校教育活動に多大な御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本校では、修学旅行を実施するにあたり、食物アレルギー調査を実施します。以下の項目に該当する場合は、できるだけ詳しく書いていただき、〇月〇日(〇)までに担任の先生に提出してください。また、本調査については、アレルギーの有無にかかわらず、全ての生徒において御提出ください。

切り取り線

組 番 名前()

1. 食物アレルギーの有無について 《どちらかに〇をつけてください》

有 無

2. 「有」の場合、アレルギーの原因となる食べ物はありますか。食べると、どのような症状が現れますか。
(例)卵、牛乳、エビ、そばなど

該当食物アレルギー

症状 ※具体的に書いてください。

〇月〇日(〇) 〇〇

after

令和〇年〇月〇〇日
〇〇市立〇〇中学校長

子どもさんに食べ物のアレルギーはありますか?

もうすぐ修学旅行に行きます。そこで、ご回答をお願いします。

子どもさんの、アレルギーを教えてください。

① 全員の回答をお願いします。

② 〇月〇日までにお願いします。

ここをさきで切り取り

組 番 名前()

1. 食べ物のアレルギーはありますか? 《どちらかに〇をつけてください》

はい いいえ

2. どんな食べ物を食べますか? 食べると、どうなりますか?詳しく書いてください。

おまご、さやうにやう・エビ

そば

おまご、さやうにやう・エビ

そば

〇月〇日までに担任の先生へ、だしてください。

～岩田先生からのアドバイス～

わかりやすくするということは、情報の取捨選択を伴います。保護者向けのお知らせを例にとると、重要度の高い情報とは、「保護者に対する働きかけで、それを知らないと子どもに不利益が生じるタイプの情報」です。例えば「植木鉢を洗って新学期に持ってきてください」「ペットボトルの容器を持ってきてください」などです。実は、重要度の高い情報だけに絞れば、お知らせはいくらでもスリムになります。

活用例の
実施報告書は
こちらから



【義務教育課】

組合員を対象とした
メンタルヘルス相談窓口

○教育厚生課……………TEL 054(221)3131
○静岡県教職員互助組合相談センター……………月・水・金曜日(午後1時から5時まで) ☎ 0120(034)054
○公立学校共済組合……………詳しくは右記QRコードをご確認ください▶▶▶



民間企業等長期派遣型研修の成果報告会(10/26)を開催しました

民間企業での研修成果報告

研修目的

教員としての視野の拡大と
時代の変化に対応できる学校づくりの推進

民間企業等長期派遣型研修とは?

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員を対象に、6か月または1年間、民間企業へ派遣する形態の研修です。

研修を通じて学んだことは?

- 経営理念の共有の重要性
- 期待を超えるサービスの提供
- ICTを活用した効率的な働き方
- 圧倒的なスピード感
- コンプライアンスの徹底

静岡県教育委員会ホームページ
「民間企業等長期派遣型研修」

令和
4年度

研修先は?

(敬称略・順不同)

- 株式会社 エスパルス
- 株式会社 静岡銀行
- 株式会社 Z会
- 株式会社 長坂養蜂場
- 株式会社 リクルート
- 芝浦機械 株式会社
- ジヤトコ 株式会社
- はごろもフーズ 株式会社

こちらから
成果報告書の閲覧も
可能です。



現在、各研修員は学校に戻り、学びの還元や企業連携の促進に努めています。

【教育政策課】

県議会
だより

題字・写真コンクール 作品募集のお知らせ

高校生
対象

題字コンクール

課題: 「しずおか県議会だより」
または「静岡県議会だより」
特に書道部の生徒に
応募するようお声掛けください。

● 締切り

令和6年
1月31日(水)

● お問合せ先

議会事務局政策調査課
TEL: 054-221-2388

毎年
恒例

写真コンクール

テーマ: 「静岡県の四季」

生徒はもちろん教員の皆さんも
ぜひご応募ください。



入賞者には賞状及び
副賞が授与されます

【議会事務局政策調査課】

詳細こちらへ▶▶▶

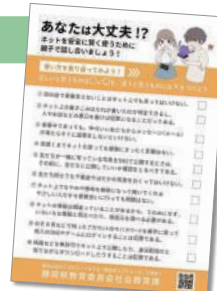


● 知っていますか? ●

● スマホルールアドバイザーとは? ●

静岡県教育委員会が主催するスマホルールアドバイザー養成講座を受講した、スマホやネットの使い方の助言をするボランティアのことです。

学校での保護者会や、PTAの集まりなどで、家庭でのルールを決める大切さを皆さんにお知らせする活動をしています。



● こんなときに、ぜひスマホルールアドバイザーをご活用ください! ●

どんなときに?	保護者会や、入学説明会、PTAの集まりなど、保護者の皆さんが集まる機会に。地域の方の集まりや、少人数の会でもOKです。
話す内容は?	● スマホやネットの正しい使い方 ⇒ 安全なネット・スマホの使い方について、アドバイザーが助言します。 ● 家庭でのルールを決める大切さ ⇒ 「親子で話そう!! 我が家のスマホルール」リーフレット等を使用して、具体的にどのようにすればいいかお話しします。
開催するときの手続きは?	● アドバイザーリストをご活用ください ⇒ 各市町の教育委員会を通じて、アドバイザーリストを学校にお届けします。 ⇒ 11月に新しいリストを配布済みです。 ● お近くのアドバイザーに、直接お申し込みください ⇒ アドバイザーリストから、お近くのアドバイザーにご連絡ください。 ⇒ 日程や、話す内容などの打ち合わせをしましょう。
費用はかかりますか?	費用は 無料 です。

【社会教育課】

静岡ホビーショー
SHIZUOKA HOBBY SHOW 2024

参加校を募集します!

静岡ホビーショー「小中高校生招待日」

ものづくりの楽しさ、静岡が世界に誇るプラモデル産業を子供達に知ってもらう絶好の機会! 校外学習などにぜひご活用ください。

日時

令和6年5月10日(金)

【小学校】9:00~15:00

【中学校・高校】15:00~17:00

会場

ツインメッセ静岡

(静岡市駿河区曲金3丁目1-10)

内容

- ◆ 射出成型機によるプラモデル製造見学
- ◆ 模型製作体験、ラジコン操縦体験の実施 など

▼ 問合せ・申込先

地域産業課 TEL: 054-221-2812 FAX: 054-221-5002

Mail: chiikisangyo@pref.shizuoka.lg.jp

【地域産業課】

今年度の様子



募集締切

- ◆ 小学校 令和5年12月8日(金)
- ◆ 中学校・高校 令和6年2月2日(金)

利用
無料

シグマ老人ホーム等紹介センター

シグまっち



介護施設をお探しでお困りの方、お気軽にご相談ください!

【広告】

「シグまっち」の3つのメリット

① 相談業務のプロを配置

相談員全員が有資格者(社会福祉士・介護福祉士・ケアマネジャー等)です。在宅支援・施設勤務・施設紹介の経験があります。



② 行政委託実績

シグまっちを運営する地域福祉支援事業部は、静岡県及び市町より信頼を得て、多くの委託事業を受託。介護事業者や地域でお困りな方々を支えています。



③ 3つの安心認定事業者

高齢者住まい事業者団体連合会
紹介事業公表制度届出

高住連
高齢者住まい事業推進団体連合会

プライバシーマーク指定取得 優良派遣事業者認定



- 相談業務のプロがお話を伺います
- 私たち相談員はすべての施設の特徴を把握しています

- ご自宅、病院へのお出張相談を行います
- 入居後のサポートもいたします

お問合せ先



東海道シグマ 地域福祉支援事業部

静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F

些細なことでも構いません。まずはお気軽にお電話ください。無料で相談を承ります。

TEL **054-252-3144**

受付時間 / 平日9:00~17:30

東海道シグマ介護

https://sigma-jp.co.jp/landing/medicalcare/care/sigmamatch/

